

タイトル：子継峠

子継峠は、8.6km の高野三山コースとして知られる女人道の間あたり、転軸山と楊柳山という聖山の間にあります。歴史的にこの峠は大和口、つまり「奈良への道」として知られています。現在は奈良県にある、ヤマトと道がつながっていたからです。

道端近くにある小さな木造の建物には、子安地蔵として知られる像が祀られています。数世紀の間、人々は、地蔵が子どもを授けてくれるよう、この神社にお参りをしています。この像が作られた正確な年は不明ですが、石に彫られた文字によると、少なくとも数世紀前の地蔵のようです。

また、子継峠は、高名な武将、豊臣秀吉(1537-1598)が高野山から逃げ下りた場所としても有名です。地元の伝承によると、聖山では茶会が禁じられているにもかかわらず、秀吉は高野山に茶会を行っていました。激怒した神は、山に雷を落とします。(そこで)秀吉は、神の怒りから逃げ出すため、子継峠を馬で駆け下りていったのです。伝承はさておき、秀吉は、聖地を焼き討ちする目的で高野山へやって来ましたが、考えを改め、この場所の熱心な後援者、保護者になったと伝えられています。